

科目	情報処理I (Information Processing I)		
担当教員	黒田 裕美子 非常勤講師		
対象学年等	応用化学科・3年・後期・必修・1単位(学修単位I)		
学習・教育目標	A3(100%)		
授業の概要と方針	パソコンを用いて、情報処理の活用法や応用法までを演習する。さらに、ネットワークから収集した情報をもとにしたパワーポイントによるプレゼンテーションを行う。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A3】情報処理にかかわるハードウェア、ソフトウェアに関する基礎的な知識を習得する。		ハードウェア、ソフトウェアに関する理解度を確認するための中間テストを行う。
2	【A3】パソコンによる演習により、基本操作、インターネットからの情報収集の方法を習得する。		インターネットによるキーワード検索で情報収集の演習を行い評価する。
3	【A3】収集した情報をもとに、質の良い情報への加工法を習得し、報告書を作成できるまでを習得する。		情報整理の演習と報告書作成を行い、報告書をレポートとして提出させ、その完成度と中間試験によって評価する。
4	【A3】研究発表の手段としてよく活用されているパワーポイントの活用法を習得する。		簡単な課題を作成し、パワーポイントの使用法の理解度を演習を通して評価する。
5	【A3】パワーポイントを使って、各自設定した演習課題の報告書を作成し、プレゼンテーションする。		指定した課題に基づき製作をし、その作品を実際に発表する。作品の完成度、発表の内容および表現を演習とレポートで評価する。さらに全体的な理解度を定期試験によって確認する。
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験20% レポート30% 演習50% として評価する。試験については、中間試験を40%、定期試験を60%として加重平均し、試験成績とする。100点満点中60点以上を合格とする。		
テキスト	「Open the Windows III」: S & Y.Kuroda (T-Byte) 必要に応じ資料を配付する。		
参考書			
関連科目	情報基礎		
履修上の注意事項	情報基礎が修得できていることを前提に授業を行う。		

授業計画 1 (情報処理I)		
週	テーマ	内容(目標, 準備など)
1	情報処理概論(ハードウェアとソフトウェア)	パソコンを活用する上で必要となるハードウェアとソフトウェアに関する講義を行う。
2	パソコンの基本操作1	パソコンを活用するための基本操作を修得し、ファイル管理やデータ整理を理解する。
3	パソコンの基本操作2	簡単なアプリケーションによる実習を行う。
4	報告書作成1	ワープロによる報告書作成の基本を実習し、簡単なレポート作成法を修得する。
5	報告書作成2	より高度な報告書やレポートを作成する。
6	ネットワークによる情報検索1	インターネットによる情報収集を演習し、有効な情報処理方法を理解する。
7	ネットワークによる情報検索2	高度な情報検索法と情報の整理法を修得するための演習を行う。
8	中間試験	前半の授業の内容に沿って設問し、理解度を確認する。
9	表とグラフの作成	表計算ソフトにより、表とグラフを作成する。
10	表とグラフを使っでの報告書作成	インターネットにより数値情報を収集し、表・グラフの作成、報告書の作成をする。
11	パワーポイントについて	パワーポイントの使用方法に関して、簡単な例題によるパワーポイントの演習。
12	パワーポイント演習1	情報収集とパワーポイントによる資料作成1。
13	パワーポイント演習2	情報収集とパワーポイントによる資料作成2。
14	プレゼンテーション1	パワーポイントによる発表1。
15	プレゼンテーション2	パワーポイントによる発表2と半学期全般のまとめを行う。
備考	後期中間試験および後期定期試験を実施する。	